



2021. 4. 2

インドステイト銀行向けシンジケートローンに参加 ～インドの日系自動車メーカーの現地生産・販売活動を側面支援～

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、お取引先のインドでの事業展開を支援するため、株式会社国際協力銀行（以下、JBIC）が組成する、インドステイト銀行（State Bank of India<以下、SBI>）向けシンジケートローン（総額 1,000 百万米ドル）に参加しましたので、その概要をご案内します。

なお、JBIC が組成する SBI 向けシンジケートローンに参加するのは、昨年 10 月に続いて 2 回目となります。

1. シンジケートローンの概要

- （1）契約締結日／3月30日（火）
- （2）組成金額／1,000 百万米ドル（約 1,100 億円）
- （3）参加金融機関／7 行（静岡銀行、国際協力銀行、三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行、横浜銀行、千葉銀行、福岡銀行）

2. シンジケートローン組成の背景・目的

- 現在、インドの自動車業界では、コロナ禍の影響から回復傾向にあり、インドに展開する日系自動車メーカーのサプライチェーンを構成する事業者では、新たな資金需要が見込まれる状況にあります。
- 本シンジケートローンは、こうした資金需要に対応するため、SBI が事業者に対して融資を行う際の原資となります。あわせて、日系自動車メーカーが製造する環境配慮車両の販売促進や普及を支援する金融事業にも活用されます。
- インドの自動車市場には静岡県内の自動車関連企業が多く進出されており、今後も自動車メーカーの海外展開における重要な市場とされています。静岡銀行では、本シンジケートローンを通じて、インドにおける日系自動車メーカーの競争力の維持・向上を支援します。
- また、SBI は、インド政府が過半を出資する同国最大の国営の商業銀行であり、静岡銀行とは 2013 年に「業務提携」を締結し、お取引先企業の現地での事業展開をサポートしています。今後も、業務提携先や他の金融機関との連携を強化することで、お取引先企業のさまざまな海外関連ニーズに対して適切なソリューションを提供する方針です。